

国際姉妹都市フランスのディーニュ・レ・バン市代表団来釜

平成25年5月13日から5月16日まで、平成6年に姉妹都市提携を結んだフランスのディーニュ・レ・バン市より代表団が釜石を訪れました。

ディーニュ・レ・バン市からの来訪者5名

- ・フランク・デ・ベネディト第1副市長
- ・クレア・ベジネ第8副市長
- ・ジャン＝マルク・ジレ総本部局長
- ・エリック・シュルテス広報部長
- ・青山あゆみ 釜石応援ふるさと大使



【第1日目】

ディーニュ・レ・バン市代表団は新花巻駅に到着後、釜石へ。宝来館にて震災体験を聴講し、根浜海岸、箱崎、片岸、鶴住居地区、防災センターなど市内視察しました。



【第2日目】

両石地区の漁師等と交流後、市役所にて献花式を行いました。



市長等との会談では、今後の姉妹都市交流での青年人材育成などが議題になりました。



狐松窯にて陶芸体験



甲子仮設団地住民と懇談し、南フランス発祥のスポーツであるペタンクを一緒に楽しみました。



市民との交流会では釜石商工高校の学生たちが虎舞を演舞披露しました。



ディーニュ・レ・バン市のトライアスロン協会からトロフィーが贈られました。



【第3日目】

鉄の歴史館、釜石大観音、唐丹の津波石を市内視察。鉄の歴史館では姉妹都市提携のきっかけとなった、「アンモナイトの壁」のレプリカを見学しました。



市職員との懇談では震災後の市の動きなどが話されました。



釜石湾の漁協の協力により尾崎白浜地区にて漁業者との交流で船で沖へ出て、牡蠣、帆立、ホヤなどの養殖場を見学しました。



柔道4段のジレ氏は釜石の柔道家3名と釜石中学校格技場にて柔道交流で汗を流し、デ・ベネデイト氏、ベジネ氏、シュルテス氏は双葉学童育成クラブにて子どもたちと交流しました。



【第4日目】

野田市長を表敬後、釜石から盛岡、東京へ。代表団はフランス大使館、外務省を表敬訪問してから、5月18日フランスのディーニュ・レ・バン市へ帰国しました。

